

会 議 録

会議名	令和2年度第1回東浦町文化財保護審議会	
開催日時	令和2年6月23日（火） 午前10時から11時45分まで	
開催場所	東浦町文化センター 視聴覚室	
出席者	委員	石原弘幸氏、河合美三男氏、福岡猛志氏、鈴木勝美氏、高部淑子氏、鬼頭秀明氏、田中央氏
	事務局	恒川教育長、石川教育部長、浅田生涯学習課長、楠文化財係長、菅沼主任
欠席者	なし	
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 正副会長の選任について 4 観音寺文化財調査について 4 令和元年度郷土資料館事業実績について 5 令和2年度郷土資料館事業計画について 6 今後の主な行事予定について 7 その他 	
傍聴者の数	2名	
審議内容	<p>◆開会 委員の任期が令和2年4月1日から4年3月31日までとなる旨説明し委嘱書を配布し、次第に従い会議を開会する。</p> <p>◆あいさつ 教育長が、新型コロナウイルス禍が町の行事や小・中学校に与えた影響に触れあいさつする。</p> <p>◆事務局 正副会長の選任について、自薦他薦を問うが意見なし。よって、事務局が、会長に石原氏を推薦する。</p> <p>◇他の委員 異議なし。会長を石原氏と決定した。 副会長は、石原会長が河合委員を指名し決定した。</p> <p>◆事務局 会議の進行を会長にお願いする。</p>	

◇会長

次第に従い議事を進める。

次第4「議題（1）観音寺文化財調査について」

◆事務局

生路、観音寺の寺じまいに伴い、前回の文化財保護審議会で観音寺を調査した結果などに基づき、観音寺の歴史、建物、仏像、什物、絵馬、天井画、石造物について説明。

◇会長

後世に残すべきものが何か、意見・アドバイスを委員に求める。

◇委員

建物は、少し専門家に見てもらえたらよい。本堂の棟札がまだ見つからないので、建物解体の時に見つけて保存をする。建物が残らないのであれば部材を残すかどうかだが、どれを残すかの判断が難しく使用場所の記録を取って残さないと意味がない。十王堂の安政6年（1859）の棟札は、「筆子中」の記述があり珍しい。寺子屋の筆子たちが関わっていた事が分かる貴重な資料である。

◇委員

仏像と十王像は信仰の対象として、お寺で引き継いで欲しい。十王像は12体残っており、バラバラでなく一緒に保存を。作られてから200年を越える像は大したものである。本尊や脇侍の仏像は古そうなので、調査した方がよい。

◇委員

灯籠や花瓶は仏像の付属品と考えられるので、仏像とセットで保存してほしい。このような什物は、仏像や寺院にあってこそのもので、資料館に保存されては生きてこない。

◇委員

絵馬は、資料的価値があるので資料館で保存を。絵具が剥げて状態が悪いものも全部まとめて保存してほしい。

◇委員

天井画は、全部一括で保存しないと意味がないので、資料館で保存してほしい。建物解体の際に壊さないように外すこと。

◇委員

石造物は、元はどこにあったか分からないものが観音寺にまとめられていて元には戻せない。参拝の道標であり観音寺や札所にあるこそのもので、お寺で考えてくれればよい。観音寺境内のどの位置にあったか、銘文・写真記録を残してほしい。

	<p>◇会長 次第5「報告事項（1）令和元年度郷土資料館事業実績について」及び「（2）令和2年度郷土資料館事業計画について」事務局へ説明を求める。</p> <p>◆事務局 事業実績と新型コロナウイルス感染拡大の影響による休館期間について、事業計画と緒川字天白地内に遺跡公園整備を進めていることを説明。</p> <p>◇委員 公園は、ここに天白遺跡があったということがしっかり分かるようなものが出来ると良い。</p> <p>◇会長 議事を終了し、事務局に進行役を返す。</p> <p>◆事務局 次第6「その他（1）今後の主な行事予定について」で、6月24日の知多地方文化財保護委員会連絡協議会役員会が中止であること、10月7日に同委員会の研修会が開催されること、1月24日文化財消防訓練実施を説明。委員に質問等を求める。</p> <p>◇委員 今年度の虫供養の開催は、どうなる予定か。</p> <p>◆事務局 森岡地区で、規模を縮小しての実施を予定している。</p> <p>◆事務局 本日の会議日程をすべて終了した旨を告げ閉会とする。</p>
備考	なし